



「安全施工サイクルの『見える化』」

「見える」安全活動コンクール

▼ 安全衛生活動の「見える化」による労働災害防止以外の効果



会社概要

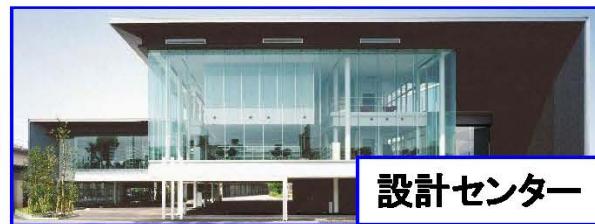
- 商号
- 本社 名古屋市中川区小碓通2丁目25番地
- 創業 1922年(大正11年)3月15日
- 営業種目 (1)総合建設業(2)設計事務所(3)不動産業
- 従業員 220名
- モットー 『安全に、より良い品質を安く、早く』



豊田支店



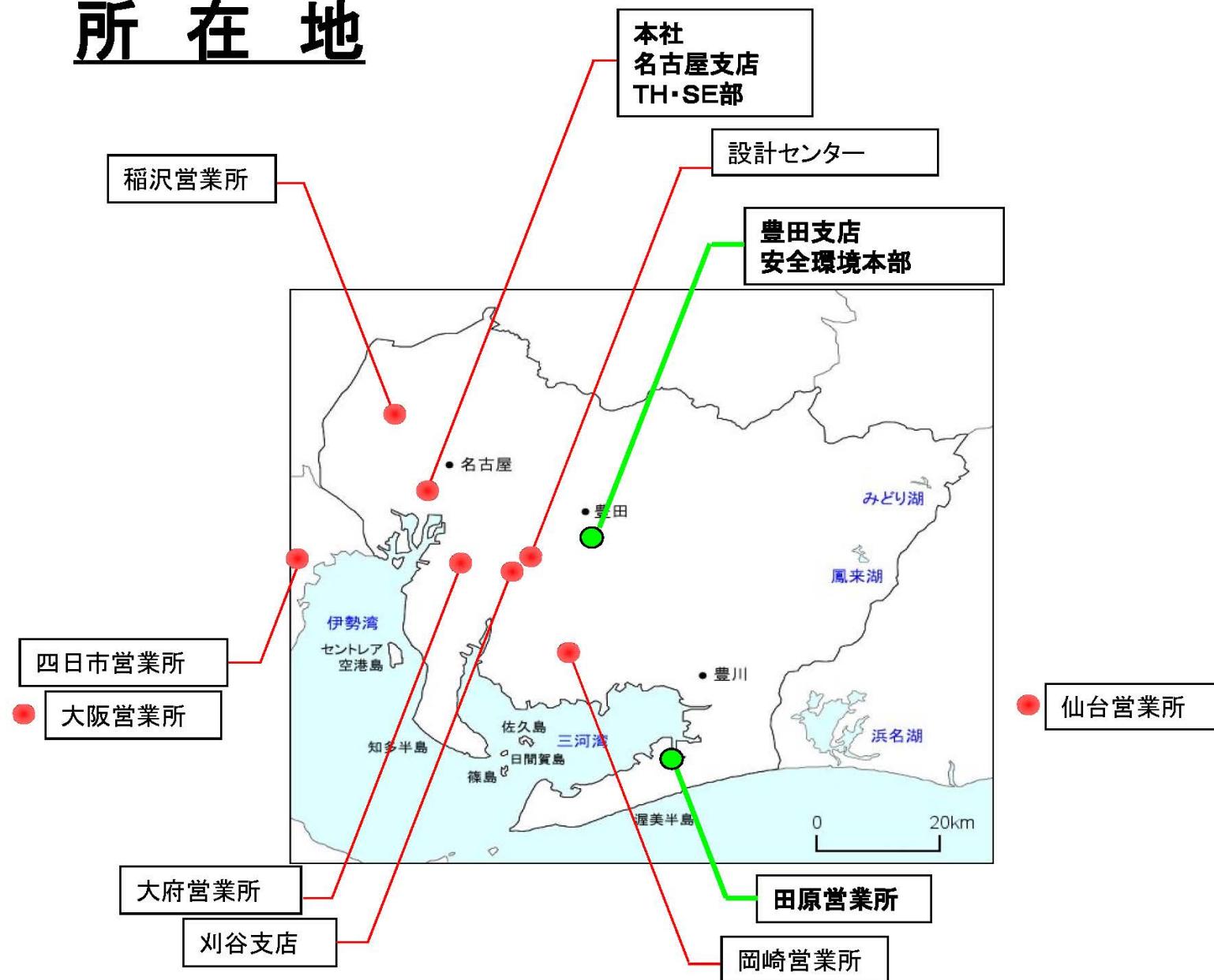
本社



設計センター



所在地





取り組み概要

- 安全施工サイクル活動は安全・作業・品質等を
一体の形で進めるため毎日・毎週・毎月に行うこと
一定のパターンにしてそれを実施することが
 - ① **5W1Hの表現で漏れなく目的を忘れず**
 - ② **写真やイラストを挿入してわかりやすく**
 - ③ **法律・ルールを加え根拠立てて**
**安全施工サイクル活動内容の『見える』化を図り
社員・作業員等にわかりやすく説明及び教育を
するために作成しました。**



《始まり》

安全施工サイクル実施要領書

安全環境本部



はじめに

当社は「安全に、より良い品質を安く、早く」を社訓に掲げ
常にお客様に信頼され満足していただける、さらに社会と文化に
貢献できる企業となるため活動しています。

その中で現場マネージャーは、当該工事の管理責任者として
トップの代行者であり安全、品質、コスト、工程、環境その他の管理を推進し
安全衛生管理のキーマンで最も重要な立場にあります。

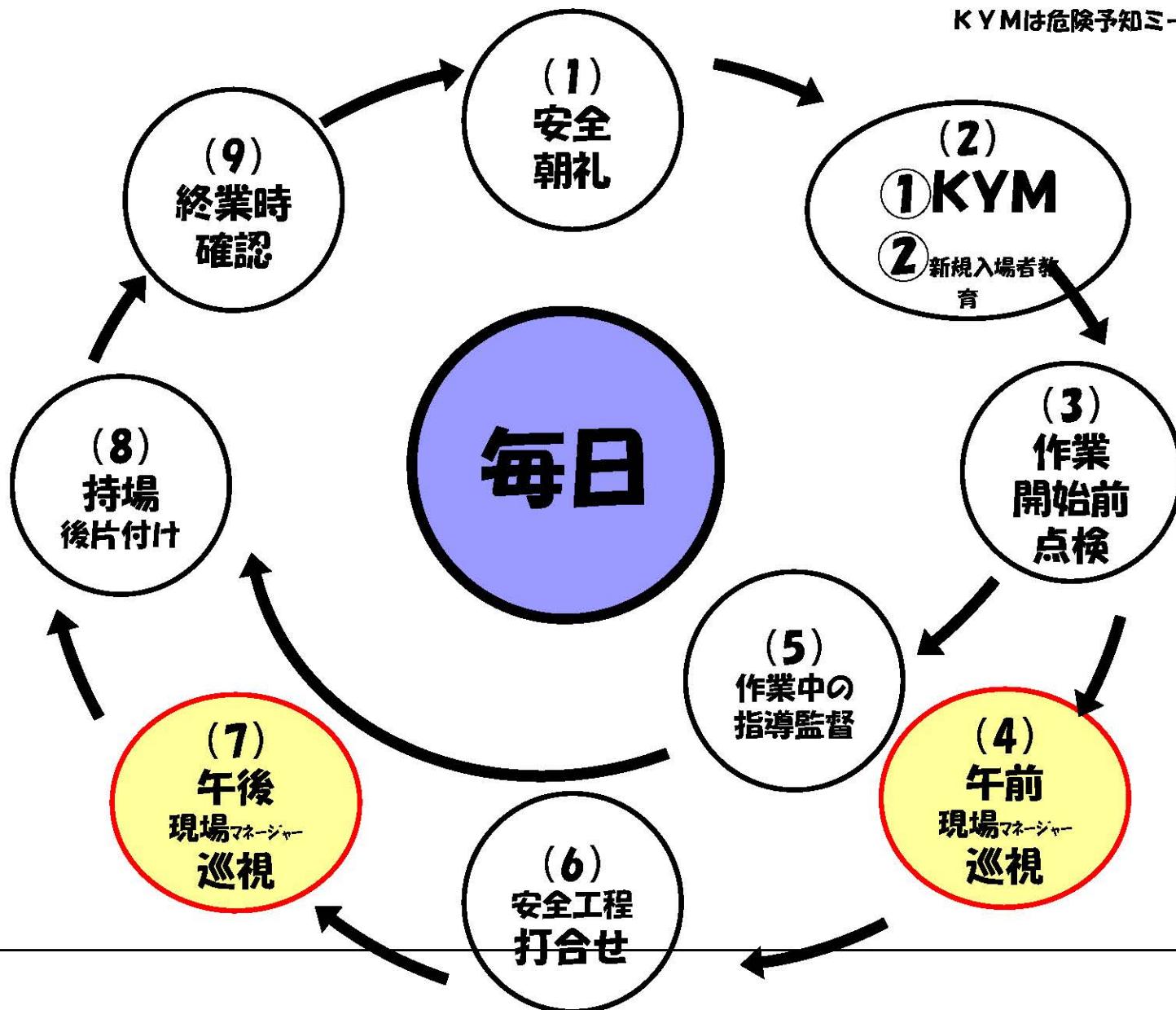
今回の教育は当社ルールに沿った安全施工サイクル実施要領で
安全管理の基本であります。
そして安全、品質、コスト、工程、環境等は全て繋がっています。
一体となった安全管理活動を行ってください。

目指すところは決まっています。
今、あなたはどこの位置にいるの？
この2つの違いは？
以上の問いかけに答えるような構造を
十分なデータに基づいて再構築していく作業が必要です。



毎日の安全施工サイクル実施要領

KYMは危険予知ミーティングの略





(1) 安全朝礼

* 目的 *

- ① 仕事への心構えと体の準備
- ② 当日作業員の人員確認とひとりひとりの健康確認
- ③ 一体感、連帯感の盛り上げ



留意事項

- ・モチベーションをあげる



(1) 安全朝礼

* いつ *

毎朝、作業開始前に実施

(概ね 8:00開始)

留意事項



- ・所要時間は、概ね15分程度



(1) 安全朝礼 * どこで *

- ① 現場内又は現場事務所前
(朝礼場所を決めておく)
- ② 安全掲示板前が望ましい



留意事項

- ・体操ができるスペース確保
- ・体操は、現場の状況や近隣の状況を判断して行う



(1) 安全朝礼

* 誰と誰が *

現場マネージャー及び
当日作業員全員参加

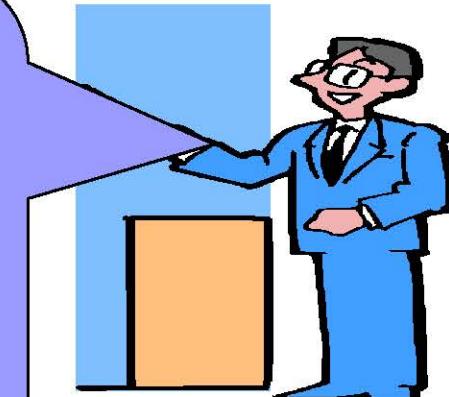




(1) 安全朝礼 *どのように*

手順①

アナウンスで呼びかけ
又は、イントロミュージックを流し、
作業員に心の準備をさせる



留意事項

声が聞こえない場所では
マイク等を利用する



(1) 安全朝礼 *どのように*

手順②

朝礼場所へ集合させる



留意事項

・キビキビと並ばせる



・隣とぶつからないように並ぶ



(1) 安全朝礼 *どのように*

手順③

ラジオ体操の実施

ラジオ体操の目的



体操で体を動かせて 作業に早く適応させる

留意事項

- ・ラジオ体操は、第一とする
- ・肩もみ等でスキンシップを図る





(1) 安全朝礼 *どのように*

手順④

集合呼びかけ、整列させる

- ・現場マネージャーが前方へ並ぶ
- ・作業員は各協力会社別に一列に縦に並ぶ
- ・作業責任者は先頭に立つ
- ・現場マネージャーと作業員は向かい合わせとなる



留意事項

- ・人員の確認をする
- ・現場内の場合は保護具着用
- ・作業員の態度、顔色等チェックする

通知書
07.08.21
第124号

安全帯には、蛍光ステッカーを安全帯フックの両面とフック下へ貼り付けることになっています。

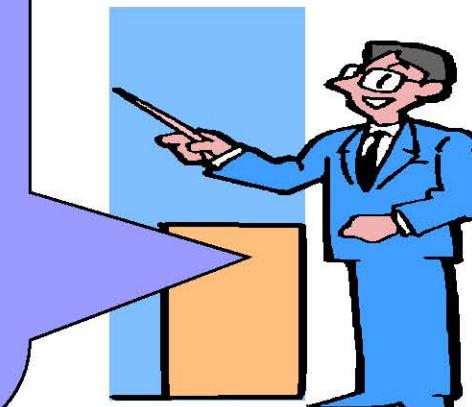
使用状況を確認しやすくし、また安全帯使用の意識を向上させるためです。



(1) 安全朝礼 *どのように*

手順⑤

挨拶、ねぎらいの言葉等



留意事項

- ・最初の発声（進行係）は、元請現場管理者が交代制で行う
- ・全員で大きな声で「おはようございます！」



(1) 安全朝礼 *どのように*

手順⑥

現場マネージャーの挨拶



留意事項

- ・現場マネージャー又は現場スタッフが行う



(1) 安全朝礼 *どのように*

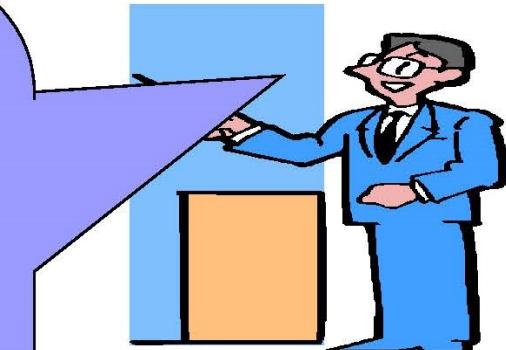
手順⑦

各協力会社の作業責任者
より発表させる

- ・当日の作業内容
- ・当日の危険のポイント
- ・作業人員など

留意事項

- ・作業責任者自らが
資格証、腕章、検電器、ベスト等
チェックする

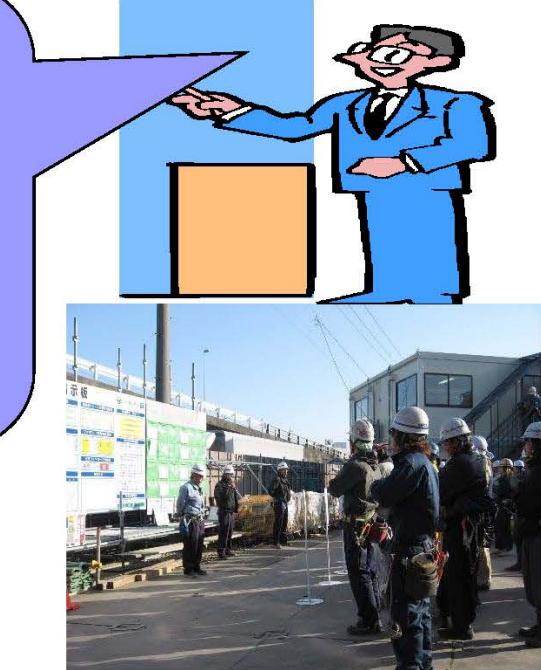




(1) 安全朝礼 *どのように*

手順⑧

安全当番が当日の注意事項等指示伝達事項を報告する



留意事項

- ・新規入場者の確認
- ・客先からの指示事項、不具合事項、対策事項、ルールの確認等
- ・全作業者の健康確認を行い、体調不良者は申告させる

特に糖尿病・高血圧・心臓病の人

及び服用薬を常用している人は必ず申告させる



(1) 安全朝礼 *どのように*

手順⑨

シュフレヒコールの実施
『今日も1日、安全作業でガンバロー』



留意事項

・全員大きな声で！！



朝礼終了後、解散



(2) - ① KYM

* 目的 *

- ① 作業員の危険に対する感受性を高め、チームが一体となり、連帯感を持って安全で能率よく作業を行うため
- ② 元請からの安全指示を徹底させる



留意事項

- ・作業員の資格を必ず確認させる

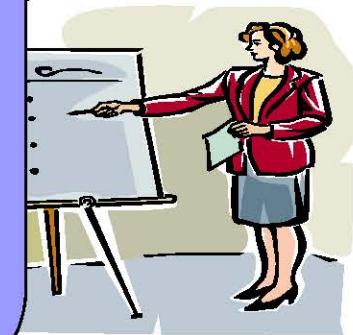
表	
氏名	協力会太郎 1947年11月10日生
作業	2010年09月30日迄有効
中間会社	トヨタ協力会システムエンジニア様式会社
所属会社	富士山工業株式会社
生産責任者	V08-110024 2008/08/01
写真十偽造 防止シール	
裏	
特別教育修了証	感電防止 V08-10012 2007/02/02 感電教育 証定番号2345
在所会員 V08-100008 2007/03/03	有効期限 2010/11/10
有効期限 2010/11/10	歯科 V08-100001 2002/04/04
歯科 V08-100001 2002/04/04	無線ルーム V08-100002 2002/05/15
無線ルーム V08-100002 2002/05/15	搬動工具 V08-100003 2001/06/15
搬動工具 V08-100003 2001/06/15	自由研石 V08-100006 1995/01/15
自由研石 V08-100006 1995/01/15	アーチ V08-100026 1995/01/15



(2) - ① KYM

* いつ *

- ① 毎日の作業開始前に実施する
- ② 作業内容に変更があったときは
その都度実施する
- ③ 客先都合等により残業すること
になったとき



留意事項

- ・ 安全朝礼に引き続いだて実施する
- ・ 所要時間は概ね10分～15分
- ・ 午後の作業開始時にも再確認する



(2) - ① KYM

どこで

作業場所





(2) - ① KYM

* 誰と誰が *

- ① 各職種ごと（グループ）に集まって行う
- ② 作業責任者がリーダーとなり作業者全員参加する



全員発言

留意事項

- ・現場マネージャー・スタッフはできるだけ立会う
- ・交通整理員等は相番作業となる業者に含める

(2) -① KYM作業指示・KYMの手順

— Safety First —		作業指示・KYミーティング実施記録				— 今日も一日安全作業で頑張ろう！ —					
工事日	2011年10月1日(土)天候(晴れ)	施工会社名	作業責任者名(職長)或フルネーム	《始業前チェック事項》							
工事名	○○会社○○工場 給水配管パッキン交換工事	一次 (株)愛知建設	佐藤 一郎	① 機械物・架空配管・たね物等の確認状況	④ 持込機械器具・電動工具・コードリール等の点検状況						
高所作業	有・無 火気使用 有・無 ロックアット 札掛け 有・無 リスク評価表	二次 (株)名古屋工務店	佐藤 一郎	② 作業計画・作業手順書等の確認	⑤ 安全衛生保護具の着用・安全帯の点検状況						
	なし	三次 (株)佐藤工務店	佐藤 一郎	③ 資格認・着用・資格衣・換電器の携帯	⑥ 足場・仮設設備等の状況						
(作業指示は、5W1Hで行う) (KYは作業現場で全員発言で行う)		使用時間	監視入	確認者	監視時間	5W1H TBM実施確認サイン(作業責任者)					
		時 分～時 分			H	朝礼	10時	13時	15時	晩礼	
						佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	
作業指示(作業内容) (本作業を細分化し、3項目以上記入する)		作業者名(連記欄)	火気使用 有りの場合必ず記入				ポイント※重点は◎印				
準備作業(作業指示・KY・荷卸し・養生等)		全員					私は、こうして作業する(リスク低減対策)				
元柱パッキン取替、配管電源遮断 佐藤		佐藤	設工充電部に触る危電する。絶縁用保護手袋を使用する。								
機材搬入・監督者不在が防止 田中・鈴木		田中・鈴木	作業台と組み立てる時に指を挟む。作業台の中心を持ち、補助者が支える。								
フランジ角材		田中・鈴木	① ボルトを緩めようとしてカギ入り落ちる。作業台はフランジに平行に設置する。								
19mm		田中・鈴木	パッキンをはがさないで、プロックを取る。プロックはフランジに倒してかまう。								
3項目以上(準備・4S隊)		佐藤	2. お重ねのため充電する				絶				
作業終了時の確認(4S等)		全員	途中より増員した場合、再度KYを実施				ワンポイントは一言で記入				
本日の作業人員	計 3名	全員が確認し、健康チェックと了承サイン (一人一人、各自でフルネーム)				(本日の行動目標)「一そーして~しよう」 パッキン交換する時は、作業台をフランジに平行に設置し、プロックは上側(レガチセボ)しようヨシ!				(ワンポイント)全員で3回指差場和 作業台はフランジ平行 ヨシ!!	
		佐藤一郎	田中誠	鈴木宏	良	良	良	良	良	良	
災害に結びつく本日の最重点行動目標を記入(周囲の確認・足元注意・合図の実施等のように曖昧な内容を記入しない)		元請の安全指示	作業員は全員ロックアウトを実施し、 フランジ荷重(本日3回)は補助者が支えよシ				指示者サイン				
終業ミーティング(確認事項)	① 一時、移動した物の現状復帰確認 ② 機械器具・電動工具・機物等の破損 ③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 ④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 ⑤ 手順書通り作業が完了したか ⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	
《作業記述事項・パトロールのコメント等記入欄》 AM ロックアット PM プロック取付 佐藤一郎 (TVA)						支店長・所長	次長	安全管理者	課長・課長代理	係長・主任	担当者
全衛生協力会											
改訂 2010.3											



(2) - ① KYM 作業指示・KYMの手順①

— Safety First —				作業指示・KYミーティング実施記録				— 今日も一日安全作業で頑張ろう！ —					
工事日	20 年 月 日()	天候()	施工会社名	作業責任者名(職長)※フルネーム		施工会社名		作業責任者名(職長)※フルネーム		始業前チェック事項			
工事名				一次		二次		三次		四次		五次	
高所作業	有・無	火気使用	有・無	ロッカット 札掛け	有・無	リスク評価点							
〈作業指示は、5W1Hで行う〉 〈KYは作業現場で全員発言で行う〉				使用時間	監視人	監視時間	5段階TBM実施確認サイン(作業責任者)						
				時 分～時 分		H	朝礼	10時	13時	15時	夕礼		
作業指示書 作業者名(添付配属書)				全員	本日の行動目標「～を～して～しよう」 (ワンポイント)全員で3回指差唱和								
					しよう ヨシ！ ヨシ！！								
作業終了時の確認(4S等) 全員					元請の 安全指示				指示者サイン				
本日の作業人員		計 名	全員が確認し、健康チェックと了承サイン (一人一人、自筆でフルネーム)										
良・否			良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		
良・否			良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		
良・否			良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		
① 一時、移動した物の現状復帰確認 ② 機械器具・電動工具・器具等の被損 ③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 ④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 ⑤ 手順書通り作業が完了したか ⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等		作業配慮事項・パトロールのコメント等記入欄				支店長・所長	次長	安全管理者	課長・課長代理	係長・主任	担当者		
		AM PM											
安全衛生協力会													
改訂 2010.3													

工事名は省略しない

日付、現場名、会社名、作業責任者名を記入し、始業前チェック事項をチェックする

(2) - (1) KYM

作業指示・KYMの手順②



— Safety First —		作業指示・KYミーティング実施記録									
工事日	20 年 月 日() 天候()	RA記録表の再評価の一 番高いランクを記入する									
工事名						参照リンク					
高所作業	有・無	火気使用	有・無	ロックアウト 札掛け	有・無	リスク評価点					
（作業指示は、5段階で行う） （KYは作業現場で行う）						資格証・職章・資格表・検電器の携帯					
（作業内容） 22日14時～15時						良・否	（足場・仮設設備等の状況） 良・否				
（作業者名） 作業者名（適正配属）						監視時間	5段階TBM実施履歴ライン（作業責任者）				
（作業時間） 時 分～ 時 分						監視者	朝礼	10時	13時	15時	施礼
（作業時間） 8 10 12 13 15 17						監視時間	H				
（作業時間） 員						どんな危険があるか（危険のポイント）※重点は○印	私たちはこうして作業する（リスク低減対策）				
（作業終了時の確認） 良・否						各段階のTBM実施後、作業責任者がサインする					
（ワンポイント）全員で3回指差唱和						（ワンポイント）全員で3回指差唱和					
本日の作業人員	計 名	指示者サイン									
良・否		しよう ヨシ！									
良・否		ヨシ！！									
良・否											
火気使用がある場合は 予定使用時間、監視人、 確認者、監視時間を 記入する											
（作業配慮事項・パトロールのコメント等記入欄） AM PM						支店長・所長	次長	安全管理室	課長・課長代理	係長・主任	担当者
終業ミーティング（確認事項）		① 一時、移動した物の現状復帰確認 良・否	② 機械器具・電動工具・器具等の破損 良・否	③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 良・否	④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 良・否	⑤ 手順書通り作業が完了したか 良・否	⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等 良・否				
安全衛生協力会											

(2) - 1 KYM

作業指示・KYMの手順③



(2) -① KYM

作業指示・KYMの手順④



— Safety First —										作業指示・KYミーティング実施記録				—今日も一日安全作業で頑張ろう！—			
工事日	20 年 月 日() 天候()									施工会社名	作業責任者名(職長)※フルネーム			始業前チェック事項			
工事名										一 次				① ④	良・否	良・否	
																	② ⑤
高所 作業	有	・	無	火気 使用	有	・	無	ロクアット 札掛け	有	・	無	リスク 評価点	次	③ ⑥	良・否	良・否	
										監視人	施設者	監視時間	5段階TBM実施確認サイン(作業責任者)				
												H	朝礼	10時	13時	15時	締礼
										作業計画時間	どんな危険があるか(危険のポイント)※重点は◎印			私達は、こうして作業する(リスク低減対策)			
										8 10 12 13 15 17							
										健康チェックと手洗い(手、目等でフルネーム)	(本日の行動目標)今月をめざしていこう			(ノンホワイト生真で)四指差し印			
										良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否
										・キビキビと全員が発言す							
① 一時、移動した物の現状復帰確認 ② 機械器具・電動工具・器具等の破損 ③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 ④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 ⑤ 手順書通り作業が完了したか ⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等										作業開始時間				作業終了時間			
										AM	PM						
										安全衛生協力会				改訂 2010.3			

・作業指示内容に基づき
危険予知を行う

・作業責任者は危険の
ポイントを作業員に
発言させる
(リスクの高いものを
重点項目とし◎印)

・リスク低減を考慮した
実行可能な対策を
話し合い決定する

(2) - (1) KYM

作業指示・KYMの手順⑤



— Safety First —				作業指示・KYミーティング実施記録			
工事日	20 年 月 日() 天候()	施工会社名	作業責任者名()	監視時間	どんな危険があるか(危険)		
工事名		一次		H	15	16	17
高所		二次					
<p>必ず作業員 本人に書かせる</p>							
<p>当日の作業者数を記入し健康確認と内容了承 のため各作業員に自筆で名前を記入させる</p>							
<p>作業終了時の確認(4S等)</p>							
<p>全員</p>							
<p>本日の作業人員 計 名</p>							
<p>全員が確認し、健康ナエックなど承認(一人一人、自筆でフルネーム)</p>							
<p>(本日の行動目標)「～を～して～しよう」 (ワンポイント)全員で3回指差唱和</p>							
<p>しよう ヨシ!</p>							
<p>ヨシ!!</p>							
<p>元請の安全指示</p>							
<p>指示者サイン</p>							
<p>支店長・所長 次長 安全管理者 課長・課長代理 係長・主任 担当者</p>							
<p>改訂 2010.3</p>							
<p>① 作業用具・機器の確認(作業用具・機器のコメント等記入欄)</p>							
<p>② 機械器具・電動工具・器具等の確認</p>							
<p>③ 火気使用後の確認</p>							
<p>④ 高所への登場</p>							
<p>⑤ 作業時間の確認</p>							
<p>⑥ その他</p>							
<p>必ず作業責任者は健康確認と既往症をチェックする</p>							

健康観察 5項目

- | | |
|----|------------|
| 姿勢 | シャンとしているか |
| 動作 | キビキビとしているか |
| 顔 | イキイキとしているか |
| 目 | キリッと澄んでいるか |
| 会話 | ハキハキとしているか |

(2) -① KYM

作業指示・KYMの手順⑥



— Safety First —					作業指示・KYミーティング実施記録				— 今日も一日安全作業で頑張ろう！ —							
工事日	20 年 月 日() 天候()				施工会社名	作業責任者名(階長)※フルネーム			始業前チェック事項							
工事名				一次				①	墜落物・架空配管・危険物等の確認状況	良	否	④	荷役機器・器具・電動工具・コードリール等の点検状況	良	否	
高所作業	有	無	火気使用	有	無	ロクワット札掲げ	有	無	②	作業計画・作業手順書等の確認	良	否	⑤	安全衛生保護具の着用・安全帯の点検状況	良	否
									③	資格証・腕章・資格表・検電器の携帯	良	否	⑥	足場・仮設設備等の状況	良	否
〈作業指示は、5W1Hで行う〉 〈KYは作業現場で全員発言で行う〉					使用時間	監視人	確認者	監視時間	5段階TBM実施確認サイン(作業責任者)							
					時 分～時 分			H	朝礼	10時	13時	15時	施礼			
作業指示(作業内容) (本作業を細分化し、3項目以上記入する)					作業者名(適正配置)	作業計画時間	どんな危険があるか(危険のポイント)※重点は○印			私達は、こうして作業する(リスク低減対策)						
準備作業(作業指示・KY・荷降し・養生等)					全員	8 10 12 13 15 17										

- ・チーム行動目標を設定しワンポイント指差呼称項目を決める
- ・ワンポイント指差呼称項目を全員で大きな声で3回連続指差唱和する

作業終了時の確認(4S等)		全員			
本日の作業人員	計名	全員が確認し、健康チェックと了承サイン (一人一人、自筆でフルネーム)			
良		良	良	良	良
否		否	否	否	否
良		良	良	良	良
否		否	否	否	否
良		良	良	良	良

(本日の行動目標)「～を～して～しよう」

(ワンポイント)全員で3回指差唱和

しようヨシ！ ヨシ！！

指示者サイン

改訂 2010.3

元

安全

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

唱和

チーム

行動

目標

4S

確認

了承

値段

動作

指差

呼称

(2) - 1 KYM

作業指示・KYMの手順⑦



— Safety First —										作業指示・KYミーティング実施記録					— 今日も一日安全作業で頑張ろう！ —						
工事日	20 年 月 日() 天候[]					施工会社名			作業責任者名(職長)※フルネーム		(始業前チェック事項)										
工事名						一次					① ④		良・否 持込機械器具・電動工具								
						二次					② ⑤		コードリール等の点検状況								
高所作業	有・無	火気使用	有・無	ロックアット	有・無	リ札掛け	有・無	リスク評価点	次			③ ⑥		良・否 安全衛生保護具の着用							
〈作業指示は、5W1Hで行う〉 → 使用時間 時 分～ 時 分 (KYは作業現場で 全員発言で行う)										監視人	確認者	監視時間 H	5段階TBM実施確認サイン(作業責任者)								
										朝礼	10時	13時	15時	夕礼							
作業指示(作業内容) (本作業を細分化し、3項目以上記入する)					作業者名(適正配置)		作業計画時間			どんな危険があるか(危険のポイント)※重点は◎印					私は、こうして作業する(リスク低減対策)						
準備作業(作業指示・KY・荷降し・養生等)					全員		8 10 12 13 15 17														
作業終了時の確認(4S等)					全員																
本日の作業人員		計名	全員が確認し、健康チケン(一人一人、自筆)																		
良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		指示者サイン					
良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		指示者サイン					
良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		良・否		指示者サイン					
① 一時、移動した物の現状復帰確認 ② 機械器具・電動工具・器具等の破損 ③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 ④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 ⑤ 手順書通り作業が完了したか ⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等						元請の安全指示					(作業配慮事項・パトロールのコメント等記入欄) AM PM					支店長・所長	次長	安全管理室	課長・課長代理	係長・主任	担当者
① 一時、移動した物の現状復帰確認 ② 機械器具・電動工具・器具等の破損 ③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認 ④ 高所への残材の置き忘れ等4S確認 ⑤ 手順書通り作業が完了したか ⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等																					
安全衛生協力会																					

(2) - 1 KYM

作業指示・KYMの手順⑧



(2) - 1 KYM

作業指示・KYMの手順⑨



リスクアセスメントとは 略してRA



設備機械や作業、そして作業場に存在する危険性や有害性を洗い出し、その危険性または有害性に対する「災害の重大性」や「災害発生の可能性」を定量的に見積もって危険性（リスク）を判定する。

そして、そのリスクの大きさが作業上許容できるものか、または改善対策によって許容できる程度まで減少させる必要があるものかを判定し、計画的に低減させる体系的な手法をリスクアセスメントといいます。

リスクアセスメントのねらいは



危険性や有害性を全てもれなく洗い出し、それが容認できるかどうかを判断した上で、リスクに対して未然に低減対策を講じること。
そして、それができた証をもって安全な作業に着手することです。

リスクアセスメントのポイント

- ① 会社のトップの代行者である現場マネージャーの責任で行う
- ② 全ての危険を網羅的に抽出する
- ③ RAした結果に基づく説明を作業者にできる状態を作る
- ④ RAは災害発生を下げる活動ですが、災害がなくなる訳でない
- ⑤ 残留リスクはルールの厳守、保護具の装着等によって回避する
- ⑥ 現場マネージャーは残留リスクを作業責任者に説明する（RA議事録等）

リスクアセスメントの活動ポイント

だれが	現場マネージャー	作業責任者
どこで	支店・営業所等	作業場所
いつ	照会後・受注後	作業開始前・変化点
なにを	RAを実施し危険性と対策を	リスク評価表にて
どのように	作業手順書にありこむ	低減対策を実施
留意事項	作業責任者に説明する	作業員全員に指導する



トヨタ自動車安全衛生協力会方式のRA評価方法

付表-1

リスク評価基準表 工事(作業)のリスクアセスメント

リスクの評価と考え方

①災害の程度	
死亡、重傷、障害災害	10
休業災害	5
不休、軽傷災害	1

災害の可能性						
②見積り時の可能性				③対策レベル		
かなり起きる	20	毎日同じ作業を行った時の災害の可能性	月1回以上	人への依存度	殆どない	設備対策できる
たまに起きる	10		年2~3回		少ない	仮設・暫定設備対策
ほとんど起きない	1		年1回以内		ある	暫定機械器具で対応
					かなりある	作業手順書の整備 保護具、標識で対応

災害の程度が「5点」以上と見積った場合、たとえ可能性が少なく総合評価も低く見積られた場合でも、何らかの対策を講じることとする。

リスクの総合評価点

①災害の程度 + ②、③災害の可能性

※ 作業頻度は評価指標
から外してある

評価点	リスクランク	評価レベル	
26点以上	Aランク	高度の危険	問題が大きく許容できない (再度見直しを要す)
23点~25点	Bランク	中度の危険	問題がある 工法・作業手順を守り監視人をつける
20点~22点	Cランク	低度の危険	問題が多少ある 教育と意識づけが必要
19点以下	Dランク	軽度の危険	許容できる

出典:全豊田安全衛生研究会

リスクアセスメントの進め方より



(例) トヨタ自動車安全衛生協力会方式のRA前提条件表

前提条件表		
管理番号	工事場所	安全管理者 作業責任者 工事責任者
工事名称	工期 2011/09/12~2011/10/31 仕入先名	
	作成日 2011/09/09 施工業者	
明確化の視点		注意事項等
①作業内容	a:準備作業	資格確認 保護具点検 搬入出経路確認 誘導員配置確認
		仮設工事:クサビ式足場組、及び解体 防水工事:外壁シール打ち替え・屋上ウレタン防水 塗装工事:外壁ホルスハイブリッド塗装
	b:本作業	作業終了後4S確認
c:後始末作業		
②取扱う物(材料)		足場材 ホルスハイブリッド塗料・ウレタン防水材・ウレタンコーティング材
③使用する機材、器具類		発電機
④人的条件	a:人数・属性	7
		高所・感電
	b:知識・技能	特になし
⑤場所・スペース的制約条件		東面: トラックヤードにつき搬入出車両あり・歩道があるため歩行者・自転車の通行あり 西面: 近隣借用駐車場につき他の車両に注意
⑥発注者からの提示の危険・有害情報/必須要求事項		1週間に1回程度、10t級の大型トラックの搬入あり

**前提条件を明確にすること。
ここが肝心です。
これを誤ったり漏れると……**

出典:全豊田安全衛生研究会
リスクアセスメントの進め方より



(例) トヨタ自動車安全衛生協力会方式のRA記録表

作業工程のリスクアセスメント記録表										
管理番号		工事場所		安全管理者		作業責任者		工事責任者		
工事名称		工期 2011/09/12～2011/10/31		仕入先名		名古屋支店				
		作成日 2011/09/09		施工業者						
No	作業工程	危険源		リスク評価		低減対策		リスク再評価		
		小項目	どんな危険・有害要因があるか	災害程度	可能性評価点	ランク	どのようにリスクを低減するか	災害程度	見積対策評価点	
1	仮設工事 足場組立	運搬作業	40kgを一人で運んで腰を痛める	5	0	25	B	2人で作業を行う	5	20 -5
				10	20	C	ワイヤーは負荷のない状態で巻き上げる	10	10 -5	
				10	20	C	安全帯を使用する	10	10 -10	
2	防水工事 シール打ち替え	仮設足場作業	手すりより身を乗り出して作業する	10	20	C	安全帯を使用する	10	10 -10	
		運搬作業	つまづき転倒する	20	25	B	足場・通路に材料を放置しない	5	20 -5	
		仮設足場作業	道具を落下させる	0	20	30	A	道具に落下防止ワイヤーを装着する	10	20 -10
3	塗装工事 外壁塗装	うっかりしていたら、必ず被災すると判断できる場合 20とする.....						10	10 -10	
									1	11 D
4	防水工事 屋上塗膜防水	運搬作業	一人で運んで腰を痛める	5	20	25	B	2人で作業を行う	5	20 -5
		運搬作業	つまづき転倒する	5	20	25	B	足場・通路に材料を放置しない	5	20 -10
5										
6										

出典:全豊田安全衛生研究会 リスクアセスメントの進め方より



ロックアウト(第3者起動防止)

■ 【目的】

機械内に進入している時、他人が起動操作を行うと機械が動きだし挟まれて死亡に至ります。このように、第3者起動防止による災害を防止するため錠前を使用して機械をストップ状態を維持すること

※ 第3者とは当事者以外のこと

□ 【対象作業】 ロックアウト金具・機構が装備されている設備 走行クレーンの起動スイッチ(札掛け)

ロックアウトの方法・手順



【施錠】

- ① 作業責任者が作業者にロックアウト用錠前を配布する
- ② KYMを行い錠前チェック表に使用者名・鍵の番号・受取時間・サインを記入させる
- ③ 非常停止範囲を確認する
- ④ 主電源を「切」にする。主電源が切れない場合、非常停止釦を押す
- ⑤ 運転準備ランプの消灯確認
- ⑥ ロックアウト施錠箇所を決め確認する
- ⑦ 携帯プラグ(キースイッチ)を抜き携帯する
- ⑧ 抜いた場所のロッキング金具に錠前を作業者自ら全員が掛ける
- ⑨ 複数名で作業する時は多人数ロックアウト金具をつかう
- ⑩ 多人数ロックアウト金具を用いても不足する場合はロックアウトボックスを使う
- ⑪ 錠前の鍵は各自が携帯する
- ⑫ 機内から出た時はその都度自分で外す

【解除】

- ① 作業終了後、施錠した本人が錠前を外す
- ② 最終退出者がプラグ、キーを復元する
- ③ 作業責任者は錠前を全員から使用者・鍵の番号を照合して回収、返却時間・サインを記入させる

『ロックアウトシステム』錠前チェック表

日付	年 月 日	機 庫 名	
会社名			作業責任者名
No.	使用者名	鍵の番号	受取時間・サイン
1			・
2			・
3			・
4			・
5			・
6			・
7			・
8			・
9			・
10			・

株式会社 伊藤工具店 2012.2.22





作業手順書

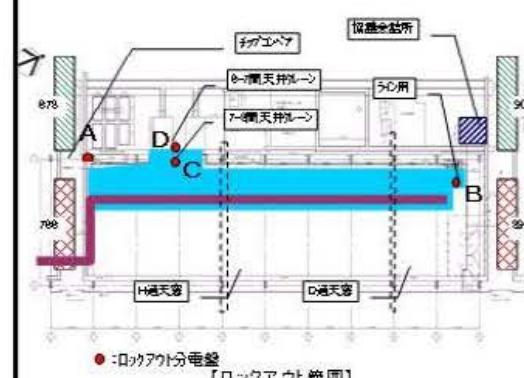
工事内容

ロックアウト

2011/9/24

1.準備作業

- ①朝礼・KYミーティング時に該当ロックアウト範囲の確認



【ロックアウトパターン】 該当作業は工程表参照

- I : A, B, C, D
- II : A, B, C
- III : C, D
- IV : C

凡例	
A	チラクナバ 停止範囲
B	ラク停止範囲
C	7-8間天井ループ (北-OR891 南OR766)
D	6-7間天井ループ (北-OR902 南OR678)

- ②錠前チェック表に鍵No.、名前を記入し錠前を受取る
(作業責任者:ロックアウト箇所数 作業者:1人1つ)

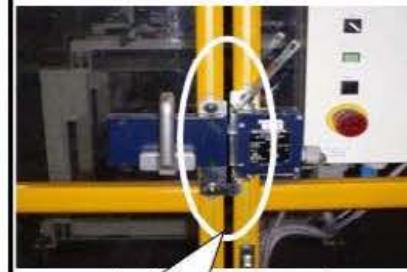


【ロックアウトシステム】錠前チェック表

ロ	ク	シ	ス	ト	シ	ス	ト
会社名		作業責任者名					
1	使用者名	錠前番号	使用時間・サイン	直面時間・サイン			
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

2.設備のロックアウト

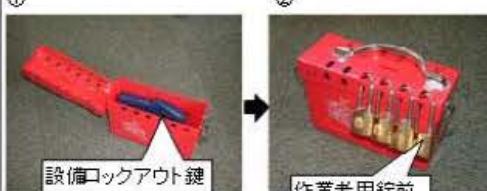
- ・作業責任者は該当設備を自分の錠前でロックアウト
※該当するすべての業者が設置



作業責任者の錠前のみ

3.ロックアウトボックス

- ①作業責任者はロックアウトした鍵をロックアウトボックス(1業者に1台)に収納
- ②作業者はロックアウトボックスに施錠(作業者全員)
鍵は各自で携帯(絶対に他人に預けない)
- ・該当設備が1ヶ所であっても同様に行なう
- ・ロックアウトボックスは協議会議所にて保管



① 設備ロックアウト鍵
② 作業者用錠前

4.ロックアウト解除

- ①ロックアウトボックスの錠前解除
※解除は本人が行なうこと
- ②作業責任者はロックアウトボックスから鍵を取り出し設備のロックアウトを解除
※作業者の有無を再度確認
- ③作業責任者は作業者から錠前を回収
- ④錠前の返却、チェック表にサイン

ロックアウト実施フロー

準備作業

- ①
ロックアウト範囲の確認
工事責任者・作業責任者

- ②
チェック表記載、錠前受取り
作業責任者・作業者全員

- 本作業
③
設備ロックアウト
作業責任者

- ④
ロックアウトボックス
作業者全員

- 後始末作業
⑤
ロックアウト解除
(1)作業者全員
(2)作業責任者



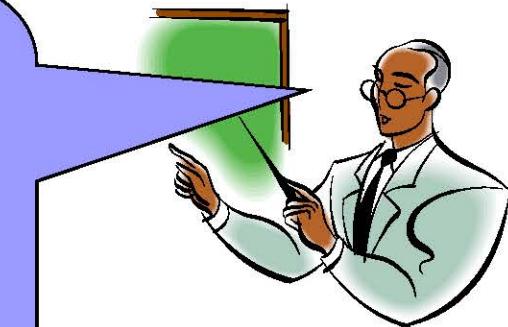
(2) - ③新規入場者教育 * 目的 *

①

作業所内の規律維持

②

労働災害防止



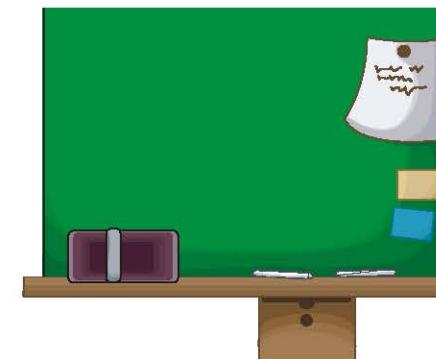
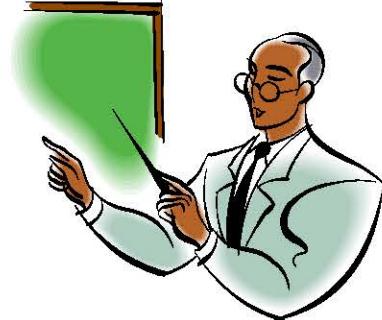
留意事項

- ・新規入場者への受け入れ教育は導入教育で雇入れ教育ではない。
- ・その現場特有の環境、作業条件を入場時教育で補完する。
- ・新規入場者の未受講者は、作業をさせない。作業できない。



(2) - ③新規入場者教育 *いつ*

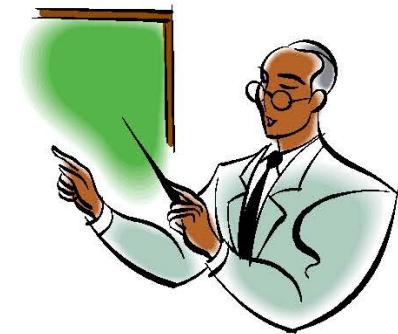
協力業者ごとの
KYM、RA実施後





(2) – ③新規入場者教育 * どこで *

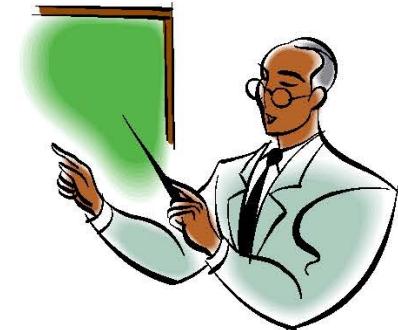
現場会議室、集会場等





(2) - ③新規入場者教育 * 誰と誰が *

現場マネージャー(教育者)
と当日の新規入場者全員





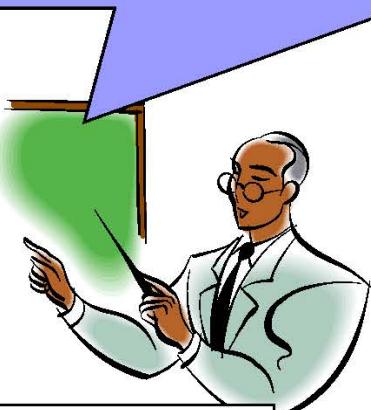
(2) - ③新規入場者教育 *どのように*

手順①

- ①新規入場者教育実施票
 - ②その他教育資料等
- を新規入場者全員に配布

留意事項

事前に教育資料は準備する



新規入場者教育実施票					
実施年月日	年 月 日	作業所名			
フリガナ					
氏名		生年月日	年 月 日	歳	
現住所	地				
私の会社	第一次の会社名	職種			
健康状態	良い	悪い	血圧	~	血液型
雇用形態	私は(1.労働者 2.中小事業主 3.一人親方)です				
	2・3の方の労災特別加入状況				
	加入・未加入				
私の持っている免許・資格(持っている免許・資格に○印を付けて下さい)					
5t以上のクレーンの運転	足場組立作業主任者	アーチ脚長作業			
5t未満のクレーンの運転	脚立支障工作業主任者	電気取扱い作業(低圧・高圧)			
5t以上の移動式クレーンの運転	地中の掘削及び土止め支障工作業主任者	研削以及し・取替作業			
5t未満の移動式クレーンの運転	主任者	脚立・足場作業			
床上操作式クレーン(5t以上)	機械物等設置組立等作業主任者	石井特別教育			
玉掛け作業(1t以上)	有機溶剤作業主任者	RST脚長教育			
車両系建設機械の運転(3t以上)	第2種脚立・足場作業主任者	安全衛生主任者教育			
(掘削用・基礎工事用・解体用)	木造建築物組立等作業主任者	全般田外式工事作業責任者			
車両系建設機械の運転(3t未満)	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	液密装置・全般田外式工事作業責任者教育			
(掘削用・基礎工事用・解体用)	作業主任者	液密装置・全般田外式工事作業責任者教育			
フォークリフトの運転(1t以上)	石油作業主任者	機動工具特別教育			
10m以上の高所作業車の運転	RC造工作物解体作業主任者	有機溶剤特別教育			
10m未満の高所作業車の運転	組立用ローラー等の運転	粉塵作業特別教育			
ガス溶接作業	コンクリートポンプ車の操作	巻上げ機の運転			
【注意事項】					
① 車両・Kマニピューリングには必ず参加して下さい。 ② 職員(作業主任者)の指示に従って作業して下さい。 ③ 服装は作業に適したもので、半袖・半ズボンは禁止です。 ④ 安全帶等作業に必要な保護具を使用して作業して下さい。 ⑤ 資格のない作業には必ず有資格者が行って下さい。又、資格認定は、常に使用して下さい。 ⑥ 持込機器は使用前点検を行って下さい。 ⑦ タバコは所定の場所で吸って下さい。 ⑧ 整理整顿・心がけて下さい。 ⑨ 安全設置は無断で取り外さないで下さい。取り外す場合は、必ず許可を受けて下さい。 ⑩ 車に乗る時はシートベルトをして下さい。また、運転中の携帯電話の使用は禁止です。 ⑪ 構内の車のスピードは構内ルールを遵守して下さい。 ⑫ 水利施設・土砂・ゴミ等を入れないで下さい。 ⑬ 工場内の設備、機械等は操作しないで下さい。 ⑭ 定められた工事範囲外へは立ち入らないで下さい。 ⑮ 火気使用作業は使用前を出し、消火設備を確認して行って下さい。 ⑯ 人出門の時は決められた手続きをして下さい。 ⑰ 説明・説教・訓誡等には物らないで下さい。 ⑱ 平常時にみだりに消火器、消火設備等に触らないで下さい。 ⑲ 写真撮影は許可なくできません。 ⑳ 事故が発生した場合は監督員に連絡して下さい。 ㉑ リスクアセスメント及び危険 TBM 活動の実施をお願いします。					
【特記事項】					
私は新規入場者教育を受けました。ついては上記の事項及び作業所の遵守事項や安全基準に従って、安全作業に従事し、自分の身の安全を守ります。					
年 月 日					
氏名					
元請チェック					
改訂 06.10					
改訂 07.10					
改訂 10.09					



(2) - (3)新規入場者教育 *どのように*

手順②

事前に作成済みの
作業者資格取得票
を提示させる



作業者資格取得票					(平成 年 月作成)		
		血液型	会社名 (一次)	TEL	職種		
和 成 年 月 日							
		直 接 使 用 会 社		TEL	経験 年数		
(都道府県)					年		
緊急連絡先	TEL	あなたは? <input type="checkbox"/> をつける	労働者・中小事業主・一人親方	中小事業主・一人親方の場合は、 労災保険特別加入番号を記入		No.	
資格一覧表							
免許・技能講習			特別教育				
No.	種類	取得年月日	免許・修了証番号	No.	種類	取得年月日	免許・修了証番号
1	5t以上クレーン・移動式クレーン	・・		1	履い入れ時の教育	・・	
2	5t以上の床上操作式クレーン	・・		2	講長教育(RST)	・・	
3	ガス溶接技能講習	・・		3	安全衛生責任者教育	・・	
4	1t以上フォークリフト運転	・・		4	※トヨタ作業責任者教育	・・	
5	3t以上車両系建設機械運転	・・		5	※高所作業者(2m以上)	・・	
6	1t以上玉掛け技能講習	・・		6	※感電防止教育	・・	
7	10m以上高所作業車の運転	・・		7	低圧電気の取り扱い作業	・・	
8	5t未満移動式クレーン(ユニック車)の運転	・・		8	高所作業車の運転(10m未満)	・・	
9	地山の掘削作業主任者	・・		9	5t未満の床上操作クレーン運転	・・	
10	土止め支保工作業主任者	・・		10	3t未満車両系建設機械運転	・・	
11	型枠支保工の組立等作業主任者	・・		11	研削といしの取替等の業務	・・	
12	足場の組立等作業主任者	・・		12	酸素欠乏危険作業	・・	
13	鉄骨組立等作業主任者	・・		13	粉じん作業	・・	
14	特定化学物質等作業主任者	・・		14	アーカ溶接の業務	・・	
15	酸素欠乏危険作業主任者	・・		15	有機溶剤作業	・・	
16	有機溶剤作業主任者	・・		16	振動工具扱い作業	・・	
17	石綿作業主任者	・・		17	石綿取り扱い特別教育	・・	

※H18.6.1改訂

留意事項

一年以内で最新のデータに更新されているか確認 (起算日6月1日)

顔写真が貼り付けてあるか確認



(2) - (3)新規入場者教育 *どのように*

手順③

新規入場者教育実施票
の必要事項をもれなく
記入させる

留意事項

中小事業主、一人親方
の労災特別加入状況を
確認する

血圧・既往症等の健康
状態を確認する



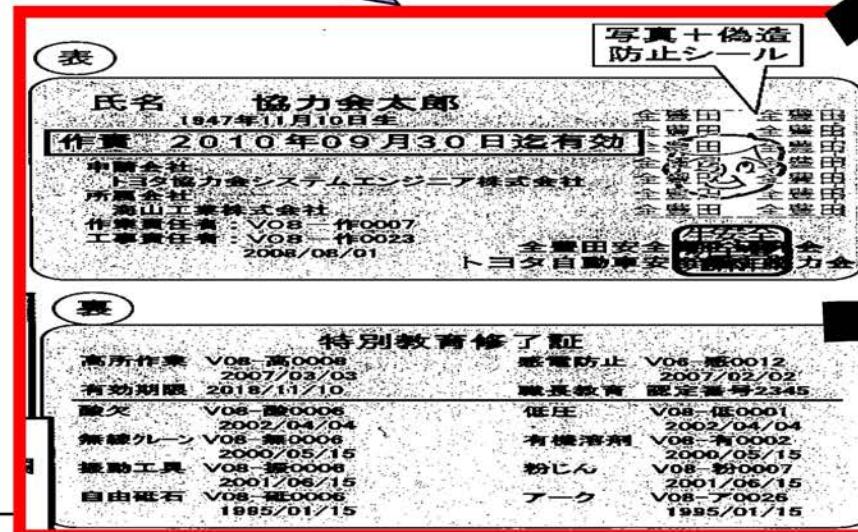
新規入場者教育実施票					
実施年月日	年 月 日	作業所名			
フリガナ					
氏名	生年月日 年 月 日 歳				
現住所	〒				
私の会社	第一次の会社名	職種			
健 康 状 態	良 い 悪 い	血 壓	~	血 液 型	型
雇 用 形 態	私は(1.労働者 2.中小事業主 3.一人親方)です				
2・3の方の労災特別加入状況					
私の持っている免許・資格(持っている免許・資格に印を付けて下さい)					
5t以上のクレーンの運転	足場組立等作業主任者	アーク溶接作業			
5t未満のクレーンの運転	型枠支保等作業主任者	電気取扱い作業(低圧・高圧)			
5t以上の移動式クレーンの運転	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	研削(し)いし取扱い作業			
5t未満の移動式クレーンの運転	建築物等鉄骨組立等作業主任者	酸素欠乏危険作業			
床下操作式クレーン(5t以上)	有機溶剤作業主任者	石綿特別教育			
玉掛け作業(1t以上)	第2種酸素欠乏危険作業主任者	RST職長教育			
車両系統建設機械の運転(3t以上) (掘削用・基礎工事用・解体用)	木造建築物等作業主任者	安全衛生主任者教育			
車両系統建設機械の運転(3t未満) (掘削用・基礎工事用・解体用)	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	全般田舎作業責任者教育			
フォークリフトの運転(1t以上)	石綿作業主任者	未認可職種・全般田舎作業責任者教育			
10m以上の高所作業車の運転	RC構造物解体作業主任者	未認可職種・全般田舎作業責任者教育			
10m未満の高所作業車の運転	総合用ローラ等の運転	搬動工具取扱い特別教育			
ガス溶接作業	コンクリートポンプ車の操作	有機溶剤特別教育			
	巻上げ機の運転	粉塵作業特別教育			
① 期札、KYマーティングには必ず参加して下さい。					
② 署名(作業責任者の指名)に記入して下さい。					
③ 服装は作業に適したものの、半袖・半ズボンは禁止です。					
④ 安全帯等作業に必要な保護具を使用して作業して下さい。					
⑤ 資格のいる作業は必ず有資格者が行って下さい。又、資格証は、常時携帯して下さい。					
⑥ 持込機械は使用前点検を行って下さい。					
⑦ タイコは所定の場所に収めて下さい。					
⑧ 整理整顿ごみ捨て下さい。					
⑨ 安全設備は無効で取り外さないで下さい。取り外す場合は、必ず許可を受けて下さい。					
⑩ 車に乗る時はシートベルトをして下さい。また、運転中の携帯電話の使用は禁止です。					
⑪ 構内の車のスピードは構内ルールを遵守して下さい。					
⑫ 水利施設(土砂、ゴミ等)を入れないで下さい。					
⑬ 工場内の設備、機械等は使わないで下さい。					
⑭ 定められた工事範囲外へは立入らないで下さい。					
⑮ 火気使用作業は使用箇所に出火警報を常備して行って下さい。					
⑯ 入出門時の時は決められた手続きをして下さい。					
⑰ 貨品、部品等には触らないで下さい。					
⑱ 平常時にみだりに消火器、消火設備等に触らないで下さい。					
⑲ 写真撮影は許可なくできません。					
⑳ 事故が発生したら直ちに監督員に連絡して下さい。					
㉑ リスクアセスメント及び既存 TBM 活動の実施をお願いします。					
【特記事項】					
私は新規入場者教育を受けました。については上記の事項及び作業所の遵守事項や安全基準に従って、安全作業に従事し、自分の身の安全を守ります。					
年 月 日					
氏名					
元請チェック				改訂 06.10 改訂 07.10 改訂 10.09	



(2) - (3)新規入場者教育*どのように*

手順④

資格証の原本を提示させ資格取得欄と照合、確認する



新規入場者教育実施票																						
実施年月日	年 月 日	作業所名																				
フリガナ																						
氏名		生年月日	年 月 日																			
現住所	職種																					
私の会社	一次の会社名																					
健康状態	良い 悪い	血圧 ~	血液型 型 経歴年数																			
雇用形態	2・3の方の労災特別加入状況 加入・未加入																					
私は(1.労働者 2.中小事業主 3.一人親方)です																						
<table border="1"> <tr><td>5t以上のクレーンの運転</td><td>足場組立等作業主任者</td><td>アーク溶接作業</td></tr> <tr><td>5t未満のクレーンの運転</td><td>脚立等支保工作業主任者</td><td>電気取扱い作業(低圧・高圧)</td></tr> <tr><td>5t以上の移動式クレーンの運転</td><td>地山の掘削及び土止め支保工作業主任者</td><td>研削といし取替作業</td></tr> <tr><td>5t未満の移動式クレーンの運転</td><td>建築物等鉄骨組立等作業主任者</td><td>酸素欠乏危険作業</td></tr> <tr><td>床上操作式クレーン(5t以上)</td><td>有機溶剤作業主任者</td><td>石綿特別教育</td></tr> <tr><td>玉掛け作業(1t以上)</td><td></td><td>RST講習教育</td></tr> </table>				5t以上のクレーンの運転	足場組立等作業主任者	アーク溶接作業	5t未満のクレーンの運転	脚立等支保工作業主任者	電気取扱い作業(低圧・高圧)	5t以上の移動式クレーンの運転	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	研削といし取替作業	5t未満の移動式クレーンの運転	建築物等鉄骨組立等作業主任者	酸素欠乏危険作業	床上操作式クレーン(5t以上)	有機溶剤作業主任者	石綿特別教育	玉掛け作業(1t以上)		RST講習教育	
5t以上のクレーンの運転	足場組立等作業主任者	アーク溶接作業																				
5t未満のクレーンの運転	脚立等支保工作業主任者	電気取扱い作業(低圧・高圧)																				
5t以上の移動式クレーンの運転	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	研削といし取替作業																				
5t未満の移動式クレーンの運転	建築物等鉄骨組立等作業主任者	酸素欠乏危険作業																				
床上操作式クレーン(5t以上)	有機溶剤作業主任者	石綿特別教育																				
玉掛け作業(1t以上)		RST講習教育																				
作業者資格取得票 (平成 年 月作成)																						
<table border="1"> <tr><td>3.0cm×3.5cm</td><td>ふりがな 氏名</td><td>血液型</td><td rowspan="2">会社名 (一社)</td><td rowspan="2">職種</td><td rowspan="2">TEL</td></tr> <tr><td>写真 貼り付け</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>昭和 年 月 日</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現住所</td><td colspan="2"></td><td>直 接 使用会社</td><td>経験 年数</td><td>年</td></tr> </table>		3.0cm×3.5cm	ふりがな 氏名	血液型	会社名 (一社)	職種	TEL	写真 貼り付け			生年月日	昭和 年 月 日					現住所			直 接 使用会社	経験 年数	年
3.0cm×3.5cm	ふりがな 氏名	血液型	会社名 (一社)	職種				TEL														
写真 貼り付け																						
生年月日	昭和 年 月 日																					
現住所			直 接 使用会社	経験 年数	年																	
<ul style="list-style-type: none"> 資格証の掲示がない、汚れて本人のものか確認できない場合は未取得とみなす 																						



(2) - ③新規入場者教育 *どのように*

手順⑤

各種資格・持込器具等の有無の確認後、教育を開始する

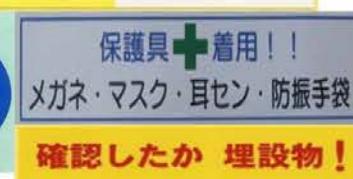
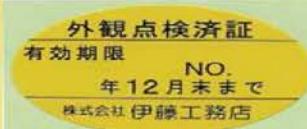


- 確認内容 電動工具・消火器・脚立・安全帯等の点検と点検シール

ブーム・アウトリガの完全格納は良いか?「格納」ヨシ!



油モレ注意!



確認したか 埋設物!

・教育内容

- 現場の安全衛生ルール・遵守事項
- 現場の安全衛生目標・組織・心得・緊急連絡先
- 当社のルール・客先要求事項
- 環境の取り組み等



留意事項

全員が納得、理解するまで教育する



(2) – (3)新規入場者教育*どのように*

手順⑥

誓約欄に日付・名前を記入、裏面のエコドライブ実践アンケートを記入させる

10m以上の高所作業車の運転	RC造作物解体作業主任者	有機溶剤特別教育
10m未満の高所作業車の運転	締固め用ローラー等の運転	粉塵作業特別教育
ガス溶接作業	コンクリートポンプ車の操作	

【注】
① 新規、KYミーティングには必ず参加して下さい。
② 稽査(作業主任者)の指示に従い作業して下さい。
③ 服装は作業に適したもので、半袖・半ズボンは禁止です。
④ 安全帯等作業に必要な保護具を使用して作業して下さい。
⑤ 資格のいる作業は必ず有資格者が行って下さい。又、資格証は常に携帯して下さい。
⑥ 持込機械は使用前点検を行って下さい。
⑦ タンクは所定の場所で輸って下さい。
⑧ 整理整頓は心がけて下さい。
⑨ 安全設備は無断で取り外さないで下さい。取り外す場合は、必ず許可を受け直して下さい。
⑩ 車に乗る時はシートベルトをして下さい。また、運転中の携帯電話の使用は禁止です。
⑪ 事故が発生した場合は、直ちに監督員に連絡して下さい。
⑫ リスクアセスメント及びS開拓 TBM 活動の実施をお願いします。

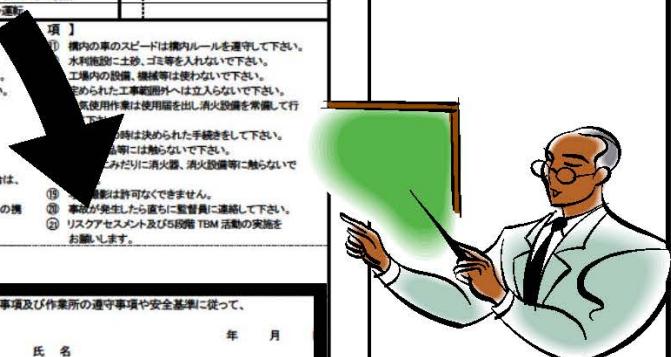
【特記事項】

私は新規入場者教育を受けました。ついては上記の事項及び作業所の遵守事項や安全基準に従って、安全作業に従事し、自分の身の安全を守ります。

年 月
氏名

改訂 06.10
改訂 07.10
改訂 10.09

元請チェック



環境マネジメントシステム アンケート
エコドライブ実践編

次のアンケートにお答え下さい。

1. あなたは、荷物の積み降ろしのとき エンジンを切っていますか？
はい いいえ

2. 空ぶかし・急発進・急加速をしない様に心掛けていますか？
はい いいえ

3. 必要のない荷物を載せて走らない様に心掛けていますか？
はい いいえ

4. タイヤの空気圧は、いつも正常に保っていますか？
はい いいえ

5. 渋滞を招く違法駐車をしない様にしていますか？
はい いいえ

現場名 _____ 年 月 日 _____

会社名 _____ 氏名 _____
ご協力ありがとうございました。

ISO14001 取り組み

① 燃料漏れの有無をチェックして下さい。
② 簡易梱包での搬入を推進して下さい。
③ 端材、余剰材等の再利用を計って下さい。
④ 廃棄物は、現場で決められた分別方法に従って下さい。
⑤ 弁当ごみは、全て持ち帰って下さい。

改定 H17.9



(2) - ③新規入場者教育 *どのように*

手順⑦

全員に提出させ
記入内容や記入もれを
チェック後、下欄に
元請がサインして
保管する



留意事項

新規入場者教育実施済 ステッカーをヘルメットに貼る

プロジェクト工事用



プロジェクト工事の現場ごと

内に工事名記入



構内保全工事用

(新規) 構内保全工事用シール

- 1) 全ての客先の各構内保全工事に適用
 - 2) シールは1枚張りとする

(例) トヨタ本社、元町、堤構内保全に入場する業者は教育は3箇所にて、シールは一枚



(3) 作業開始前点検 *目的*

作業前、使用前の安全確認で不安全箇所・不具合器具等の是正により労働災害の未然防止を図る



留意事項

- ・元請は協力業者に貸与するときは法定条件に適合したものを提供する義務がある
- ・使用する協力業者は点検の義務がある



(3) 作業開始前点検 *一つ*

- ① 当日の作業開始前
- ② 業者持込重機・機械器具
については現場持込時



特定自主検査標章の確認も必要

— 作業前に検査済標章を確認しましょう —

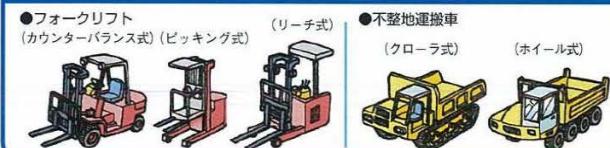


特定自主検査対象機械

高所作業車



車両系荷役運搬機械

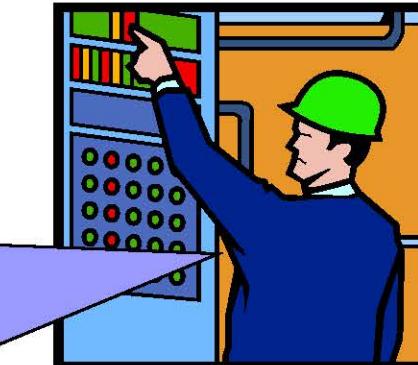




(3) 作業開始前点検 * どこで *

① 作業場所

② 設置場所



- ・足場については作業前点検及び結果の保存は義務（平成21年6月安衛則改正）

留意事項

- ・作業開始前点検等は、当該足場において作業を行う各々の事業者が作業開始ごとに実施する義務がある。
- ・元請社員が足場上で施工管理する場合、元請の法人は事業者として作業開始前点検等を行うことが必要である。
- ・点検等の実施者の資格についての定めはないが、悪天候等の後の点検等については十分な知識・経験を有する者の中から、日々の作業開始前の点検等については職長等の責任者の中から指名することが望ましいとされている。



(3) 作業開始前点検 *誰と誰が*

- ①作業責任者
- ②重機・機械器具の点検は
運転者、取扱い者
- ③仮設設備の点検は 使用する業者
の作業責任者が指名した者
- ④酸欠などの作業環境の点検は作業
責任者又は作業責任者が指名した者



留意事項

- ・複数の作業者が使用する場合は、作業責任者の指名した者



(3) 作業開始前点検 *どのように*

手順①

作業責任者に作業者資格取得票の記載内容と資格証の携帯を確認させる



留意事項

・資格証
不携帯の
作業員に
は作業さ
せない

表	
<p>氏名 協力会太郎 (1947年11月10日生)</p> <p>写真十偽造 防止シール</p> <p>作業 2010年09月30日迄有効</p> <p>中請会社 トヨタ協力会システムエンジニア株式会社</p> <p>所属会社 海山工業株式会社</p> <p>作業責任者: VOB-作00023</p> <p>工事責任者: VOB-作0007</p> <p>工事責任者: VOB-作0007</p> <p>2008/06/01</p> <p>全盛田安全 トヨタ自動車安全 協力会</p>	
裏	
<p>特別教育修了証</p> <p>高所作業 VOB-高0006 2007/03/03 有効期限 2018/11/10</p> <p>疊合 VOB-疊0006 2002/04/04</p> <p>無線クレーン VOB-無0006 2000/05/15</p> <p>搬動工具 VOB-搬0006 2001/06/15</p> <p>自由研石 VOB-研0006 1995/01/15</p> <p>感電防止 VOB-感0012 2007/02/02 職業教育 認定番号2345</p>	

作業者資格取得票 (平成 年 月 作成)								
3.0cm×3.5cm		ふりがな	血液型	会社名 (一次)	職種			
写 真 貼り付け				生年月日 昭和 年 月 日	TEL			
本籍 (都道府県)				現住所	接 使用会社			
緊急連絡先		あなたは? ○もつける	労働者・中小事業主・一人親方	中小事業主・一人親方の場合は 別途機密保持登録番号を記入	No			
規 格 一 定								
免 許 、 技 能 講 習								
No	種 類	取得年月日	免許・修了証番号	No	種 類	取得年月日	免許・修了証番号	
1	3.0m以上の床・高所作業式クレーン	・	1	重い入れ替り機器	・	1	重い入れ替り機器	・
2	3.0m以上の床・高所作業式クレーン	・	2	長教育 (R.S.T.)	・	2	長教育 (R.S.T.)	・
3	ガス溶接技術講習	・	3	安全衛生責任者教育	・	3	安全衛生責任者教育	・
4	1.5t以上のフォークリフト運転	・	4	3.0t以上のクレーン運転	・	4	3.0t以上のクレーン運転	・
5	3.0t以上の車両運搬機器運転	・	5	高所作業車 (2m以上)	・	5	高所作業車 (2m以上)	・
6	1.5t以上の運搬機器運転	・	6	感電防止装置	・	6	感電防止装置	・
7	1.0m以上の高所作業式の運転	・	7	庄児の取扱い作業	・	7	庄児の取扱い作業	・
8	5t未満動式クレーン(コニカ製)の運転	・	8	新作業車の運転 (1.0m未満)	・	8	新作業車の運転 (1.0m未満)	・
9	高所作業式の運搬機器運転	・	9	3.0t未満の床・高所作業クレーン運転	・	9	3.0t未満の床・高所作業クレーン運転	・
10	土止め支保工式高所作業式	・	10	3.0t未満車両運搬機器運転	・	10	3.0t未満車両運搬機器運転	・
11	搬動工具の組立等作業式	・	11	荷物といしの取扱等の運搬	・	11	荷物といしの取扱等の運搬	・
12	足場の組立等作業式	・	12	高さ2.5m未満の作業	・	12	高さ2.5m未満の作業	・
13	高さ2.5m未満の作業式	・	13	粉じん	・	13	粉じん	・
14	粉じん	・	14	ガラス質の高所作業	・	14	ガラス質の高所作業	・
15	屋外の高所作業式	・	15	有機溶剤作業	・	15	有機溶剤作業	・
16	搬動工具の組立等作業式	・	16	搬動工具の組立等作業式	・	16	搬動工具の組立等作業式	・
17	粉じん	・	17	石粉作業	・	17	石粉作業	・

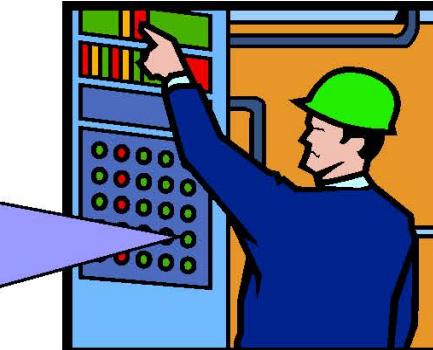
平成18.6.1改訂



(3) 作業開始前点検 *どのように*

手順②

運転者、取扱い者に使用する重機・機械器具を点検させる



・始業前点検表を使用する

- ・高所作業車・ワイヤー
- ・フォークリフト・アーク溶接機・
移動式クレーン・車両系建設機械等・電動機械器具等

留意事項

- ・油もれチェックもする
また、輪どめ良いか

- ・工事用分電盤には管理責任者・
取扱責任者を決め
分電盤使用ルールを貼る

高所作業車始業点検表

高所作業車始業点検表		点検者名	点検実施日
点検項目	点検者	点検者	
1. オイル、冷媒水の漏れは無いか、もれは無いか 2. 各計器・スイッチ類の機能及び作動は無いか 3. エンジン起動部を上部に取り、燃料・ガソリンの漏れは無いか 4. バケット下部の漏れに(△)印を付けて(△印)(ブームのみ) 5. ブームシザーハイローランジングの漏れ(△印)(ブーム・バーカー) 6. 油もれ(△印)(ブーム・バーカー) 7. PTOシャーベーの油漏れ(△印)(ブームのみ) 8. ブレーキの効き合は無いか 9. タイヤ・クローラーの表面・側面は無いか 10. 操作ハンドル等は見良いか 11. フレーム取付け部のゆみみは無いか 12. 作業台取付け部のゆみみは無いか 13. 運行走行前下車して、車両後方・下部に燃料・油等の漏れは無いか 14. 管理者印捺印後で、車両の清掃・油拭き等の不具合は無いか			
(注)作業開始前に実施し、工事管理部門に提出する 主担当者			



工事車両油漏れ確認シート

別紙名		日付	年	月	日	会社名	会員登録番号	
※工事車両1台づつ、運転者が車の運転台、荷役入荷場、荷役運送場に車両の下部を目視し、「油漏れの有無」の確認と、運行状況を記録してください。								
順	会社名	車種	運転者	会員登録番号	油漏れ	運行状況	油漏れ	運行状況
1					△	△	△	△
2					△	△	△	△
3					△	△	△	△
4					△	△	△	△
5					△	△	△	△
6					△	△	△	△
7					△	△	△	△
8					△	△	△	△
9					△	△	△	△
10					△	△	△	△
11					△	△	△	△
12					△	△	△	△
※1) 油漏れチェックポイント		※2) 油漏れ検査方法						
		(1)車両底部へ目視する (2)車両底部を手で触る (3)ドライクリンクリーナー等で噴射して油漏れを検出する (4)油漏れ点検の際は、マットや紙で油漏れを拭く (5)油漏れ点検の際は、ヨリヤマモト等						
油漏れ点検の実施・燃料タンク漏油後の確認・足し給油の禁止! 地盤に近い、工事範囲の実施!								

分電盤使用ルール

- 使用する業者は、漏電遮断器のテストボタンを押し、動作確認を行う
- 電工ドラムは、漏電遮断器付3P仕様のものを使う
- 電動工具は始業前点検を行い、6ヶ月点検済みのものを使う(指定シール貼付)
- プラグには、使用会社名表示をつける(無いコードは抜きます!)
- 扉は開け放しにしない
- 分電盤の前に物を置かない
- 分電盤内の機器に破損などがある時は、直ちに管理責任者へ連絡する

会社名	株式会社 伊藤工務店
管理責任者	氏名
会社名	取扱責任者
氏名	

(注)
ヒューズ
の取替等は
取扱責任者
である専門
業者に行わ
せる



(3) 作業開始前点検 *どのように*

手順③

- ・足場等の仮設設備の設置
- ・埋設物
- ・架空配線
- ・危険物の有無
- ・酸欠などの作業環境等、点検させる



留意事項

- ・強風、大雨、大雪、地震などの後の後における点検は入念に実施する

配線、設備配管の標示テープのルール（活線切断防止のため）

撤去する物は緑色

（検電器で確認）

撤去しない物は赤色

「危険触るな」等標示する

通知書
08.03.07
第29号



(3) 作業開始前点検 *どのように*

手順④

各種始業前点検表を
チェックし、承認サイン後
工事管理板に掲示する



留意事項

- ・作業責任者は点検結果を現場マネージャーに報告し承認を受ける
- ・不具合機械器具等は現場から撤去する
- ・点検結果は作業指示、KYミーティング実施記録の

始業前事項チェック欄に記録する



(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡視 *目的*

- ① 全般的な工事進捗状況の把握
- ② 各職種間の連絡調整状況の確認
- ③ 人と物の不安全状態・行動の排除



留意事項

- ・危険と判断した場合、その場で作業を中断し、改善措置を講ずる
- ・作業所の最高管理責任者の立場で巡視すること



(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡回 * いつ *

午前1回
午後1回



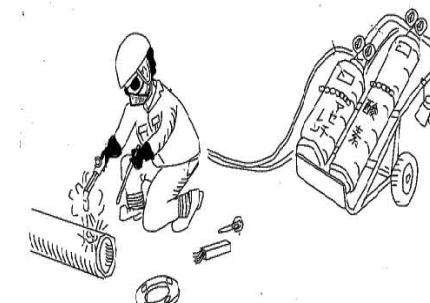
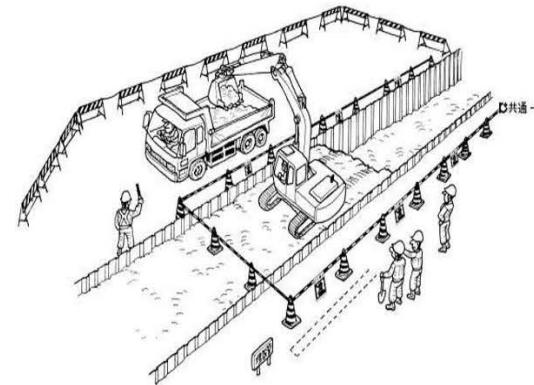
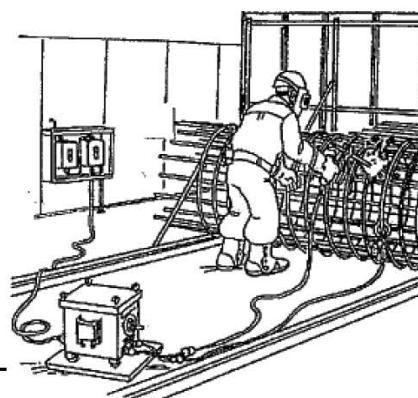
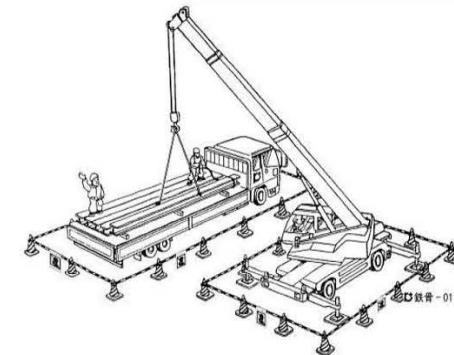
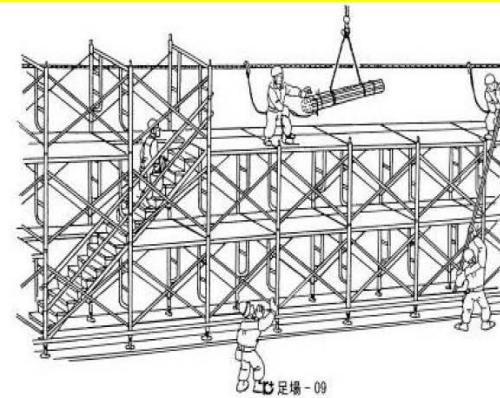
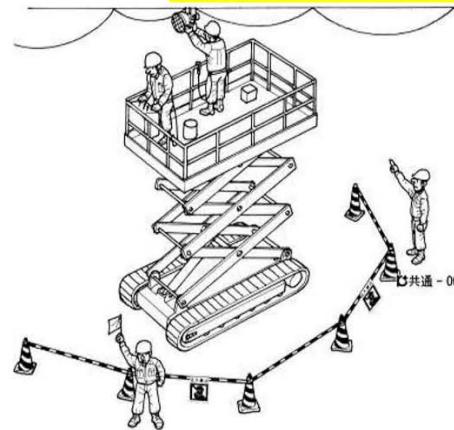


(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡視 *どこで*

作業所全域



巡回ポイントは？ 作業前は？ 作業中は？ 作業後は？





(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡視 *誰が*

現場マネージャー



留意事項

- ・必要により安全当番又は安全担当者が同行する
- ・現場マネージャーが不在の場合の代理者を決めておく
- ・作業責任者は自社の作業場所での立会いが望ましい



(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡回 *どのように*

手順①

KY・リスク評価表・名簿等 必要書類をチェックする

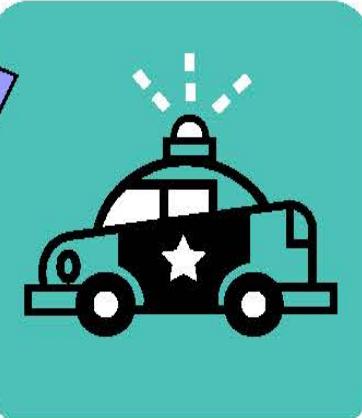




(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡回 *どのように*

手順②

計画通り実施しているか
作業手順書・仮設計画書
にて確認する



※作業手順書とはムリ・ムラ・ムダのない安全な作業のやり方を書面にしたもので

作業手順 + 作業の急所で表し

「手順」とはその作業を安全に確実にそして効率よく仕上げるための最も良い作業の方法、順序をいう。

「急所」とはその作業を行ううえで絶対に外してはいけない重要な事項でカン・コツ含まれる。

作業の手順を間違うと災害
発生の原因になる



(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡回 *どのように*

手順③

巡回結果を安全日誌と KYM実施記録用紙 に記録する





(4) 午前 (7) 午後 現場マネージャー巡回*どのように*

手順④

巡回の際、残った問題点は
安全工程打合せで検討する



留意事項

- ・現場巡回の結果は全職種に伝達し指示する





(5) 作業中の指導・監督 *目的*

- ①作業の流れを見る
- ②指示、作業手順が守られているか
- ③異常はないか
- ④不安全状態はないか
- ⑤不安全行動はないか



留意事項

- ・妥協を許さない
- 勇気・愛情・根気
- が必要





(5) 作業中の指導・監督 *いつ*

作業中隨時





(5) 作業中の指導・監督 *どこで*

作業場所





(5) 作業中の指導・監督 *誰が*

作業責任者





(5) 作業中の指導・監督 *どのように*

①作業手順書
②作業指示書
③施工要領書
等に基づいて指導



留意

・不備、不良、異常の場合その場では正又は作業中止させる

事項

・トラック荷台昇降ルール

- ①飛び降り禁止
- ②トラックに付属の
ステップで昇降
- ③滑動防止付きはしごで昇降

・安全帯ロープ収納のルール

- ①収納袋の使用
- ②収縮式安全帯の使用
- ③肩への廻し掛け

通知書
07.05.23
第69号

・重量物取扱いルール

- ①重量物の運搬は
30kg以上は
2人作業とする
- ②足場上の運搬は
20kg未満を
社内標準とする

※ 重量物を取り扱う業務について
は年少者及び女性には法の定めが
あるが、満18歳以上の男性にはない。
ただし、通達で示している

(基発第547号 平成6年9月6日)

「イ 満18歳以上の男子労働者が人
力のみにより取り扱う重量は、55kg
以下にすること。また、当該男子労働
者が、當時、人力のみにより取り扱う
場合の重量は、当該労働者の体重の
おおむね40%以下となるように努め
ること。」

「ロ イの重量を超える重量物を取り
扱わせる場合には、2人以上に行わ
せるように努め、この場合、各々の労
働者に重量が均一にかかるようにす
ること。」



(6) 安全工程打合せ *目的*

作業間の連絡調整を含め工事
の安全、品質、能率の確保





(6) 安全工程打合せ *いつ*

毎日、一定時刻



留意事項

- ・開始時間は作業所の状況からきめる
(例) 11時、11時30分、13時
- ・開始時間は当日の作業をある程度把握でき
翌日の作業の手配できる時間とする



(6) 安全工程打合せ *どこで*

現場事務所等





(6) 安全工程打合せ *誰と誰が*

現場マネージャー
現場スタッフ
作業責任者



留意事項

- ・作業責任者は、代行者を選任後、出席する
- ・2次以下の協力業者の作業責任者も出席させる
- ・別途受注業者も出席させる



(6) 安全工程打合せ *どのように*

手順①

作業責任者に現場での問題点を報告させ
是正の指示を行う





(6) 安全工程打合せ *どのように*

手順②

作業責任者に
作業進捗・人員の
異常の有無を
報告させる



留意事項

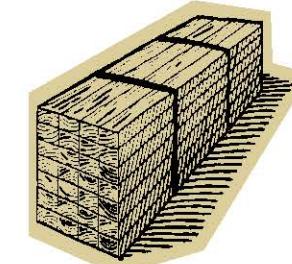
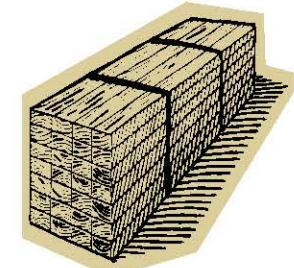
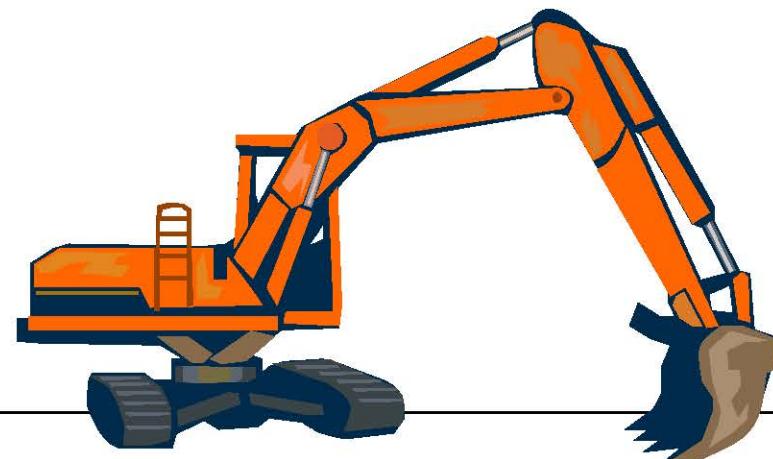
- ・作業者の体調状況も報告させる
- ・人員の異常は、必ず支店、営業所に報告する



(6) 安全工程打合せ *どのように*

手順③

翌日の作業の調整を行う
(仮設・重機の手配、
材料等搬入予定含む)





(6) 安全工程打合せ

* どのように *

手順④

**指示、注意、伝達事項等を
記入した作業安全指示書を
渡しサインをもらう**



(8) 持場後片付け

* 目的 *

- ① 翌日の作業の準備
- ② 快適職場の維持

作業の安全
品質の確保
作業能率の向上



留意事項

- ・ 施工計画時にゴミ箱等配置を予定しておく



(8) 持場後片付け

* いつ *

毎日

終業5~10分前



留意事項

- ・定時終業・残業とも各々の終業前に行う



(8) 持場後片付け

* どこ *

- ① 作業場所
- ② 安全通路、詰所
- ③ 共用部分





(8) 持場後片付け

* 誰が *

① 作業場所は
作業を行った業者

② 安全通路、詰所

③ 共用部分は

作業員全員



留意事項

・ 共用部分は分担を定めても良い



(8) 持場後片付け

* どのように *

手順①

不用材、発生材を
指定場所へ
分別集積させる



留意事項

- ・ 指定場所を標示する
- ・ 産業廃棄物の種類を標示する
- ・ マニフェストで管理する
- ・ 生活ゴミは各自持ち帰る



(8) 持場後片付け

* どのように *

手順②

安全通路、詰所等
共用部分の
管理・清掃を行う



留意事項

- ・ 基本は全員で一斉清掃する
- ・ 担当区分を決めてても良い
- ・ 掃除用具を準備しておく



(8) 持場後片付け

* どのように *

手順③

翌日の使用工具、
器具、材料等の
準備、確認を行う



留意事項

- ・チェックリスト等を活用する



(8) 持場後片付け

どのように

手順④

重機の錠の保管、
火気の監視確認
を行う



留意事項

- ・錠の保管場所を指定する
- ・火気作業終了時の残火がないことを確認する

トヨタ構内では火気使用場所を指定時間監視し、監視終了後、詰所に許可証を返却することになっています



(9) 終業時の確認

* 目的 *

- ①品質、工程、安全の確保
- ②防火、盗難、第三者災害などの防止



留意事項



・火気使用後の確認は念を入れる



(9) 終業時の確認

* いつ *

作業終了時



留意事項



- ・作業所の規模、工程を問わず毎日実施する



(9) 終業時の確認 *どこで*

作業所全域及びその周辺



留意事項

- ・乗り入れ口、側溝などよく注意する

《環境への配慮のお願い》

- 1 事前の環境事故防止計画の立案
- 2 万が一の環境事故発生時への対応計画と必要資材の準備
- 3 協力業者、作業者への周知徹底
- 4 工事中の随時の点検
- 5 工事完了後の点検

以上を再徹底し、環境（油漏れ・土壌・廃棄物・排水・騒音・臭気）への配慮をお願いします。

通知書
06.12.15
第180号

2010年11月18日
株式会社 伊藤工務店 安全環境本部

電柱のしくみ

はじめに :家庭や工場などに電気を送るには、電柱を使って電気を配る『架空配電』と地中に埋設したケーブルを使って電気を配る『地中配電』があり、ここでは『架空配電』について説明していきます。

架空配電とは:配電電線を通じて配電用変電所まで送られた電気を、電柱や柱上変圧器などさまざまな設備を通らせ、各家庭や工場へ送り届けられます。

電柱のしくみ:配電線やケーブルは敷設されている『高さ』で種類がわかります。一番上から『高圧の配電線』、『低圧の配電線』、『有線放送』、『ケーブルテレビ』、『電話線』となっています。具体的には、低圧配電線の60cm下、地上5.5～7mまでの範囲が通信用のケーブル向けの場所と決まっています。

①架空地線 (アレスター)
②高圧配電線路
③変圧器 (トランス)
④低圧配電線路
⑤有線放送 (CTC)
⑥ケーブルテレビ (CAT)
⑦電話線 (光ファイバーケーブル)

①架空地線 :架設(架空)された、送電、配電などの為の電線路を雷から保護する装置。(アレスター)落雷誘導する避雷器。

②高圧配電線路 :配電用変電所とつながっている電線で電気は6,600ボルトの三相交流。電柱の一番上に3本並んでいます。

③変圧器 :配電用変電所から送られてくる6,600ボルトの電気を100ボルト・200ボルトの電圧に変える装置。

④低圧配電線路 :③を使って、②から受けた電力を100または200ボルトの単相または三相に落したもの。家庭・工場・商店への電力供給。

⑤有線放送 (CTC) :昭和30年代から主に商店・商業施設・飲食店へ音楽を主体とした音声放送。

⑥ケーブルテレビ (CAT) :屋根の上にアンテナを立てないで地域のケーブルテレビ局から黒か灰色のケーブルで繋がれている。

⑦電話線 :一般電話(アナログ電話回線)、ISDN(デジタル電話回線)、ADSL(アナログ電話回線の高周波帯域)がある。また、光ファイバーケーブル(光回線)を利用するFTTHがある。

※電柱には、必ず固有の電柱番号といわれる電柱番号が付いています。
電柱番号は、電柱の地上から2.5～3mの高さに取り付けられた丸っぽいプレートに書かれています。
電柱番号の種類は、『NTT電柱番号』(写真2)や、『電力会社電柱番号』(写真3)などがある。
大抵は、NTT電柱番号と電力会社電柱番号が一緒に取り付けられています(写真1)。
この写真の場合は、電力電柱番号がNTT電柱番号より下にあります。電柱の所有者は、札が上に付いている場合、下の札が所有者となります。

ちなみに、白色プレート『NTT』 黄色プレート『中部電力』となります。

[写真1] [写真2] [写真3]



(9) 終業時の確認

* 誰が *

- ① 作業責任者
- ② 現場マネージャー



留意事項

- ・ 残業者の連絡などの手続きは明確にしておく





(9) 終業時の確認 *どのように*

- ① 作業終了時の終業ミーティングの事項を
作業責任者より直接報告させ記録させる
- ② 現場マネージャーは異常の有無等を確認しKYM
等の必要書類を受取り保管する



準備作業(作業指示・KY・荷降し・養生等)		全員												
作業終了時の確認(4S等)		全員												
《本日の行動目標》 「～を～よう」		(ワンポイント) しようヨシ!												
元請の安全指示														
<table border="1"> <tr> <td>① 一時、移動した物の現状復帰確認</td> <td>良・否</td> </tr> <tr> <td>② 機械器具・常勤工具・器物等の破損</td> <td>良・否</td> </tr> <tr> <td>③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認</td> <td>良・否</td> </tr> <tr> <td>④ 商店への残材の置き忘れ等4S確認</td> <td>良・否</td> </tr> <tr> <td>⑤ 手順書通り作業が完了したか</td> <td>良・否</td> </tr> <tr> <td>⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等</td> <td>有・無</td> </tr> </table>			① 一時、移動した物の現状復帰確認	良・否	② 機械器具・常勤工具・器物等の破損	良・否	③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認	良・否	④ 商店への残材の置き忘れ等4S確認	良・否	⑤ 手順書通り作業が完了したか	良・否	⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等	有・無
① 一時、移動した物の現状復帰確認	良・否													
② 機械器具・常勤工具・器物等の破損	良・否													
③ 火気使用後の残り火、届出の返却確認	良・否													
④ 商店への残材の置き忘れ等4S確認	良・否													
⑤ 手順書通り作業が完了したか	良・否													
⑥ 重大ヒヤリ・ケガ等	有・無													





終了

安全施行サイクル要領書

作成日	2010年 1月15日
改 訂	2010年 10月 1日
呼称変更	2011年 2月10日
改 訂	2011年 10月 1日
改 訂	2012年 3月31日
改 訂	2013年 10月1日

安全環境本部